

県央ブロックごみ処理施設整備予定地選定の進捗状況について

令和2年2月13日

環 境 部

盛岡広域8市町及び一部事務組合（5組合）で構成する「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」（以下「協議会」という。）は、既存のごみ焼却施設（6施設）を1施設に集約化することとし、当該集約化に係る新たな施設整備予定地の選定を進めているところであるが、進捗状況は次のとおりである。

1 住民説明会等の開催状況

県央ブロックにおける新たなごみ処理施設の整備予定地の選定については、平成29年5月に整備候補地4か所を公表後、各候補地で住民説明会や懇談会等を開催し、地域住民や関係者との協議や意見交換を行ってきた。

平成30年8月には、各候補地の状況を踏まえ「都南工業団地付近」及び「盛岡インターチェンジ付近」を地域住民や関係者との協議を優先的に実施する候補地とした。

また、平成31年3月25日に開催した協議会では、各候補地に係る「地域住民や関係者の意見等」、「整備の確実性」及び「整備運営上の諸条件」の要素を総合的に判断し、「盛岡インターチェンジ付近」を最も有力な候補地とし、以後、同候補地で住民説明会、懇談会等を開催するなど、地域住民や関係者との協議を継続して行ってきた。

令和元年度における住民説明会等の開催状況は、次のとおりである。

【盛岡インターチェンジ付近における住民説明会等の開催状況】

年月日	実施内容	概要	参加者
R1.5.26	懇談会	ごみ処理施設の整備を含む地域のまちづくりをテーマとする「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」を開催（盛岡市による開催）	77名
R1.7.29	施設見学（仙台市）	候補地に類似した立地状況で、廃棄物エネルギーを利用したスポーツ施設を併設する「仙台市松森工場（H17年竣工、600 t/日、ストーカ炉）」の見学会を実施	50名
R1.9.14	施設見学（武蔵野市・さいたま市）	市街地に立地し、公共施設への電力・熱供給によるエネルギー利用のほか、災害時のエネルギー供給拠点機能を有し、住民に開かれた施設運営をしている「武蔵野クリーンセンター（H29年竣工、120 t/日、ストーカ炉）」及び住宅地に近い立地の「さいたま市桜環境センター（H27年竣工、380 t/日、ガス化溶融炉）」の見学会を実施	13名

年月日	実施内容	概要	参加者
R1.9.18	住民説明会	太田地区の住民を対象とした住民説明会を開催	74名
R1.9.21	シンポジウム	<p>廃棄物エネルギーを活かしたまちづくりや住民参加への理解を深めていただくことを目的に、シンポジウムを開催</p> <p>【講演内容】</p> <p>① ごみ処理施設とまちづくり（埼玉大学名誉教授 小松登志子氏）</p> <p>② 地域貢献に向けた廃棄物エネルギー利活用計画について（環境省課長補佐 大沼康宏氏）</p> <p>③ 地域に開かれた施設と廃棄物エネルギーの利活用（武蔵野市環境部長 木村浩氏）</p>	70名
R1.11.29	住民説明会	太田地区の住民を対象とした住民説明会を開催	55名

## 2 情報提供

ごみ処理広域化の進捗状況等について広く周知するため、次のとおり情報提供を行った。

### (1) 広報もりおかへの掲載

5月15日号と9月1日号の広報もりおかに、ごみ処理広域化の進捗に関する記事を掲載した。また、ごみ処理広域化の経緯や必要性、多く寄せられる質問への回答等について、11月15日号の広報もりおかに特集記事（見開き2ページ）を掲載した。

### (2) 盛岡市公式ホームページへの掲載

住民説明会や懇談会の開催概要を盛岡市公式ホームページに掲載した。

## 3 地域住民や関係者からの意見等

各候補地で開催してきた住民説明会や懇談会では、地域住民や関係者から多くの要望、意見、質問等が寄せられている。主なものは、別紙資料（4～6ページ）に記載のとおりである。

## 4 今後の予定

令和2年2月27日に開催を予定している「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」において、令和元年度の住民説明会等で地域住民や関係者から寄せられた要望、意見、質問等の内容、及び地域の状況について報告し、協議を行う予定としているものである。

県央ブロックごみ処理施設整備予定地の選定に係る地域住民の意見等

1 住民説明会等の開催状況

整備候補地	年月日	実施内容	対象町内会	参加者
	H29.7.7	住民説明会（1会場）	前潟自治会, 上厨川自治会	42名
	H29.10.17	住民説明会（1会場）		47名
	H30.11.16	懇談会※（1会場）	土淵地区全6町内会	104名
	H31.1.20	懇談会※（1会場）	（前潟自治会, 上厨川自治会, 土淵自治会, 谷地上自治会, 平賀振興会, 長橋町自治会）	89名
	H31.2.19, 21	秋田市総合環境センター 施設見学		68名
盛岡インターチェンジ付近	H31.3.20	住民説明会（1会場）	太田地区全11町内会	109名
	R1.5.26	懇談会※（1会場）	土淵地区全6町内会	77名
	R1.7.29	仙台市松森工場施設見学		50名
	R1.9.14	武蔵野クリーンセンター・ 桜環境センター施設見学		13名
	R1.9.18	住民説明会（1会場）	太田地区全11町内会	74名
	R1.9.21	シンポジウム	土淵地区全6町内会	70名
	R1.11.29	住民説明会（1会場）	太田地区全11町内会	55名
盛岡南インターチェンジ付近	H29.7.19～21	住民説明会（3会場）	田中自治会, 上永井自治公民館,	84名
	H29.10.26	住民説明会（1会場）	下久根町内会, 下羽場町内会	38名
都南工業団地付近	H29.7.11	住民説明会（1会場）	堀越自治公民館	21名
	H29.10.13	住民説明会（1会場）		22名
	H30.7.20	住民説明会（1会場）	田の沢町内会, 沢目町内会	10名
	H30.8.28	住民説明会（1会場）	新山自治会	24名
	H30.12.19	住民説明会（1会場）	堀越自治公民館, 田の沢町内会, 沢目町内会	19名
	H30.12.20	住民説明会（1会場）	新山自治会	22名
	H31.1.19	住民説明会（1会場）	手代森ニュータウン町内会	62名
H31.2.23	住民説明会（1会場）	58名		
盛岡市クリーンセンター敷地	H29.7.24 ～8.9	住民説明会（5会場）	松園地区全13町内会, 上米内地 区全6町内会	218名

※ ごみ処理施設の整備を含む地域のまちづくりをテーマとする「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」として、盛岡市主催により開催

2 各整備候補地周辺の住民等からの要望、意見、質問等（主なもの）

※ 下線部分は、令和元年度に出された意見等

整備候補地	住民等からの要望、意見、質問等（主なもの）	
	要望	<p>【土淵地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上厨川地区へのごみ処理施設整備と地域振興策を検討し、まちづくりを示してほしい。（H29年10月。自治会長、地権者等の3者連名の要望書。自治会長分の要望は、R1年10月に取下げの申出あり。）</li> <li>・ 「新駅の設置」、「交通対策」、「区画整理事業跡地の土地利用」を進め、土淵地区の均衡ある発展計画を示してほしい。（H30年5月。土淵地区まちづくり懇談会）</li> <li>・ <u>ごみ処理広域化計画の見直し又は撤回を求め、「盛岡インターチェンジ付近」を整備候補地としないことを求める。（H29年10月、R1年6月、8月、11月の計4回。地域住民組織団体からの要望書。署名総数 1,988名）</u></li> </ul> <p>【太田地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ごみ処理広域化計画の見直し又は撤回を求め、「盛岡インターチェンジ付近」を整備候補地としないことを求める。（H31年3月、R1年6月、9月、11月の計4回。地域住民組織団体からの要望書。署名総数 1,583名）</u></li> </ul>
盛岡インターチェンジ付近	意見、質問等	<p>【土淵地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境への影響、ぜん息等の健康被害、交通渋滞などが心配である。</li> <li>・ ごみ処理施設が、なぜ、まちづくりに貢献するのか理解できない。</li> <li>・ なぜ、商業施設や飲食店、住民がたくさん住んでいるこの場所に焼却施設を建設しなければならないのか。</li> <li>・ 風が西から東に吹くこの地域に、ごみ焼却施設は向いていない。</li> <li>・ 公害問題が解消され、インフラが優先的に整備されるなら、施設整備に賛成する。</li> <li>・ 「区画整理事業跡地の土地利用」として、ごみ処理施設・付帯施設の整備をお願いしたい。</li> <li>・ 今の施設は、公害、大気汚染等の問題がないと聞いている。立地環境が類似している秋田市の焼却施設の見学会を実施してはどうか。</li> </ul> <p>&lt;秋田市総合環境センター施設見学会参加者の意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ処理場が山の中ではなく住宅地や商業地の近くにあり驚いた。臭いも煙りもほとんどない高度な処理施設に感心した。</li> <li>・ 公害、風評被害等もなく、同じような施設であれば安心という気になった。</li> </ul> <p>&lt;仙台市松森工場施設見学会参加者の意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>熱利用施設を含め完成予想図を示して欲しい。その方が住民理解も進むと思う。</u></li> </ul>

整備候補地	住民等からの要望, 意見, 質問等 (主なもの)	
盛岡インターチェンジ付近	意見, 質問等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ごみ処理施設建設とスポパーク松森のようなスポーツパークの整備を考えてほしい。</u></li> <li>・ <u>武蔵野クリーンセンター等施設見学会参加者の意見</u>&gt;</li> <li>・ <u>武蔵野の建設段階における市民一体化の発想は見習うべき。</u></li> <li>・ <u>大都会の中の施設を市民が有効活用し, 環境学習や, 憩い, 市民交流の場など新たな発想で取り組んでいることに感銘を受けた。</u></li> <li>・ <u>シンポジウム参加者の意見</u>&gt;</li> <li>・ <u>なるべく早急に「まちづくり検討委員会」でのプラン作りに取り組むべき。</u></li> <li>・ <u>これほどいい施設になってきているのに, 反対の方が多いのは情報不足だと思う。</u></li> <li>・ <u>エネルギー利活用よりも住民の安定・安全・安心が最優先だ。</u></li> </ul> <p>【太田地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>環境, 交通渋滞の部分の説明は納得できない。</u></li> <li>・ <u>最初から盛岡インターチェンジ付近ありきで進めたのではないか。</u></li> <li>・ <u>火山灰の降灰, 水害の影響などが考慮されていないのではないか。</u></li> <li>・ <u>安全な施設なら, なぜクリーンセンター周辺住民が反対するのか。</u></li> <li>・ <u>浸水想定区域外であっても, 近年の豪雨災害などから, 状況は変わってきており, 危険性の再検討が必要ではないか。</u></li> <li>・ <u>H29年10月に3者の連名で提出された要望書は, 前前潟自治会長分が取下げになったのだから, 要望の効力が消滅したのではないか。</u></li> <li>・ <u>盛岡市長選で, 広域化を見直すとした2候補の得票が, 現職の得票を上回った。このまま計画を進めるのは誠意がない。どのくらいの反対署名を集めればいいのか。</u></li> <li>・ <u>リサイクル率の向上に取り組んでから施設整備を行うべき。</u></li> </ul>
盛岡南インターチェンジ付近	要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>開発投資の経済性があり, 余熱利用による経済効果が期待できるので, 施設誘致を要望する。(H29年4月。商工関係団体からの要望書)</u></li> <li>・ <u>農業を振興する上で不適地であり, 施設の設置について反対する。(H29年9月。周辺町内会, 農業団体等の組織団体からの要望書)</u></li> </ul>
	意見, 質問等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>農作物への影響, 風評被害等への懸念がある。</u></li> <li>・ <u>立派な田園地帯になぜ焼却施設が必要なのか。</u></li> </ul>
都南工業団地付近	要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>「都南工業団地付近」を候補地から除き, 広域化計画を見直すこと。(H31年1月。1町内会からの要求書)</u></li> <li>・ <u>(H31年2月ほか(計2回)。地域住民組織団体からの要望書。署名総数 2,681名)</u></li> </ul>
	意見, 質問等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>1か所決定の要件やスケジュール, 住民合意の進め方, 説明会の対象範囲の設定の考え方等がわからない。</u></li> </ul>

整備候補地	住民等からの要望, 意見, 質問等 (主なもの)	
都南工業団地付近	意見, 質問等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備予定地選定の時期について, 平成30年度末ではなく, さらに半年延期すべきだ。</li> <li>・ 地理的な面から, 土地造成等による影響が懸念される。</li> <li>・ 農業を営んでいるが, 風評被害により一定数の顧客が失われる。</li> <li>・ 処理技術は問題がなく, 乙部地区の発展のため賛成する。</li> <li>・ 道路や上下水道の整備, 公民館の補修, 雇用など, 従前からの地域課題解決につながる地域づくりを進めてほしい。</li> </ul>
盛岡市クリーンセンター敷地	要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 盛岡市クリーンセンター敷地に新施設を誘致しないこと。(H28年6月。同センター建設地の地元町内会からの陳情書)</li> <li>・ 不安解消のため地域住民が納得するような説明会を開催すること。「盛岡市クリーンセンターに関する覚書」を遵守すること。(H28年6月。上米内地区からの要望書)</li> <li>・ クリーンセンター敷地を整備候補地から除外することを要望する。(H29年10月。上米内地区まちづくり懇談会)</li> <li>・ 広域化基本構想を撤回すること, 「盛岡市クリーンセンターに関する覚書」を遵守し, クリーンセンター敷地に新施設を建設しないこと, 整備候補地からクリーンセンター敷地を除外すること等を要請する。(H27年7月ほか(計7回)。広域化に反対する団体からの要請書。署名総数 4,008名)</li> </ul>
	意見, 質問等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみの減量と逆行する広域化は見直すべき。</li> <li>・ 焼却施設周辺の小中学校では, 児童・生徒のぜん息罹患率が高いなど, 健康への影響が心配だ。</li> <li>・ 町内会の総意として反対である。(3町内会)</li> <li>・ 50年間もごみ処理の地域にされ, 苦痛を強いられてきた。</li> </ul>
	覚書の協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市は, 施設更新に当たり計画を立案する際には分散型立地を原則とすること等を定めている「盛岡市クリーンセンターに関する覚書」に反している。広域化の説明の前に, 覚書に基づく協議を行うべき。</li> <li>・ 町内会として施設整備に反対する陳情書を提出しているので, 覚書の協議に応じる必要はない。(建設地の地元町内会)</li> <li>・ クリーンセンター敷地を候補地から除外してほしい。(覚書に基づく協議の相談依頼に対する上米内地区からの回答)</li> <li>・ 上米内地区の意向を無視した対応はできない。(松園地区の意見)</li> </ul>
盛岡南インターチェンジ付近を除く整備候補地	要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域化計画に反対し撤回を求め, ごみ処理施設候補地選定作業の中止を求める。</li> </ul> <p>(H31年3月。3候補地の関係団体(3団体)の連名による要請書。 R1年6月。3候補地の関係団体(4団体)の連名による要請書)</p>